



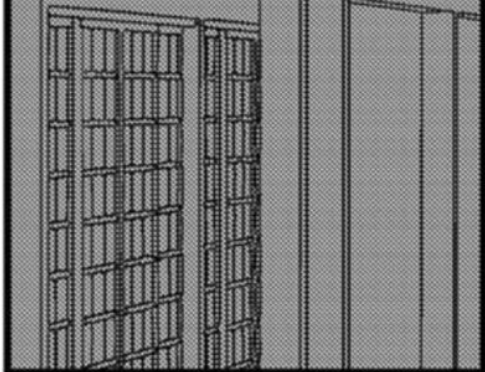
お願い...もう、
イカせないで...

叔父

年下の
式の
前日
まで
に

抱かれ続けた私は...

味野ひらき
はにいめたる。



——叔父と姪で
こんな事

わかっているのは



でも

彼女と
ずっと一緒に
いられるなら



俺は何だって
構わない——



歳の離れた
俺の兄貴とその妻
：つまり深冬の
両親が事故で他界し



これからよろしくね
……恭一くん

「姪」である
深冬がこの家に
来たのは前から
12年前のこと



祖父にあたる
俺の親父が
彼女を引き取った



——しかし



複雑にも叔父と姪の
関係になったが
俺たちだった

3つしか歳の違う
深冬はほとんど
姉のような存在だった





—それから数年

互いを
深く求め合った
俺と深冬は

あつ
恭ちゃん…っ

その身体の隅々まで
知り尽くしていた

—うん



生き物みたいに
俺の指を
締め付けるんだ

ブルッ
ブルッ

そ…れ

イツちやうっ…!



…深冬姉さんは
ここを擦られるの
好きでしたよね

や…あつ
言わない…でっ

裏から挟むように
ク〇を弄ると…





俺は姉さんの
感じる場所を
全部知っている

——この奥以外……



すきだよ

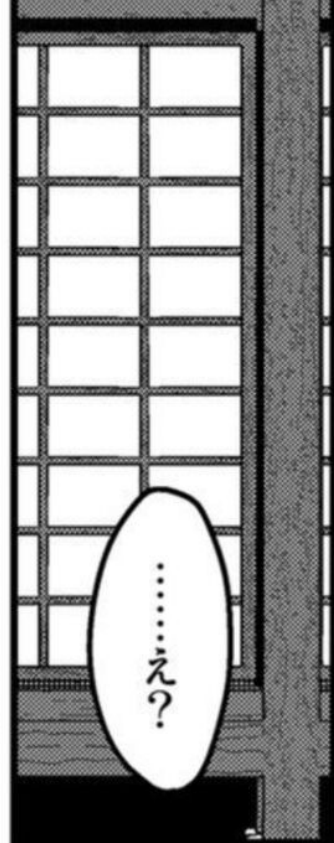
恭ちゃん……

——えへへ



想い合っていたら
家族関係なんて
どうでもいい

そう思いながら俺は
深冬と最後の線
越えられずにいた——







身体はこんなに
反応してるのに



こんな風に
されても起きない
ものなのか...



あ...っふ...!



じっとり濡れて
クリ○リスも
真っ赤に膨れている



何度しゃぶり尽くして
絶頂させてきたと
思ってるんだ

…我慢してる
つもりなのか

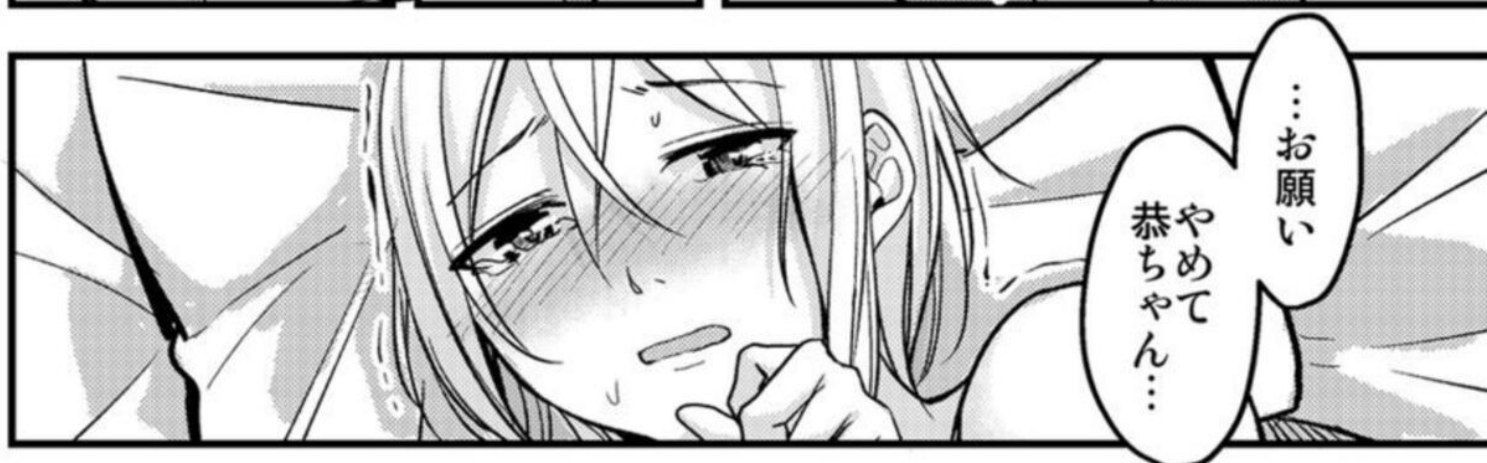


—無駄ですよ



深冬の感じる所なら
ク○や膣
尿道だって把握
しているのに





結婚まで貞操は守っておきたい？



ダメという割には
本気で抵抗して
ないですよ

ひよつとして
もう処女では
ないんですか？

ちっ…が

結婚するまでは
しないでいうって
彼と約束して…

…そうですか

それは
よかった…！

んああっ！！

ズ
ッ
ッ
ッ



ダメだつ…て
言ったのにっ…!!



今までに
ないくらい
エロい顔だ…!!



俺のモノで
感じてくれ
るんですね



いや…
見ないで…っ!



たくさん突いて
一番奥で気持ちよく
なれるように
してあげますよ



ずっと貴女と
セックスが
したかった…っ！



ずっと
貴女の中に入
りたかった…

暖かく蕩けた
膣奥にこの
チ○ポで…！！



姉さんの膣内
気持ちいい…

姉さんも
気持ちよく
なってる…っ！



きょう…ちや

恭ちゃん…っ！



愛液と締め付けが止まらない…っ

ぐん

ぐん

あゝ

ぐわ

ゴ

ブ

膣内がひくひくしてる...

イキそう
なんでしょう？

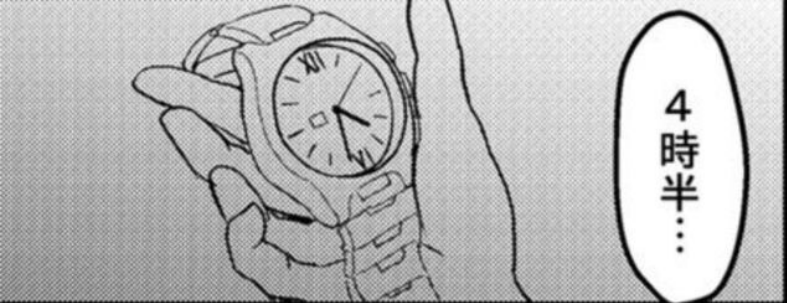
いいですよ

いいですよ

恭ちゃん
ダメっ

[illegible]





4時半…

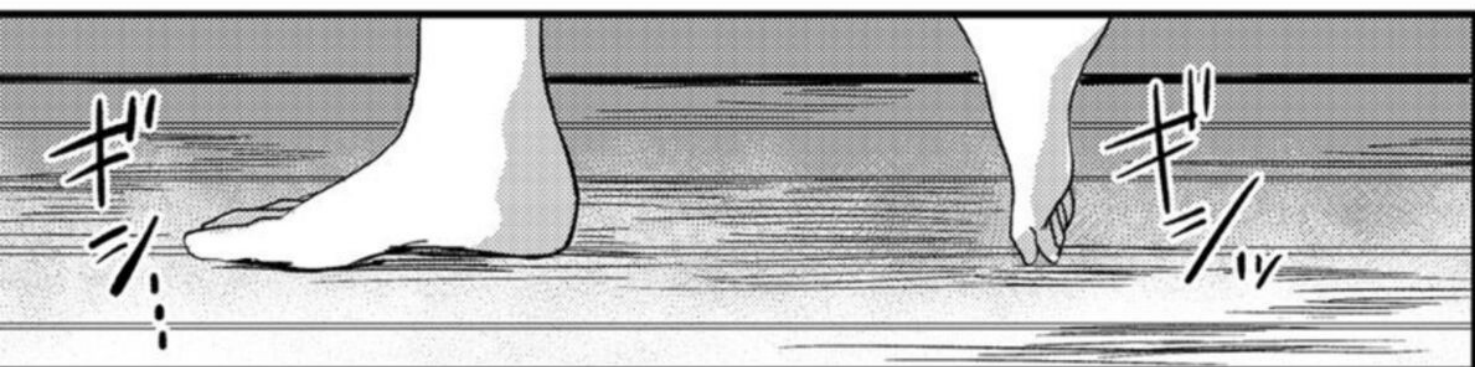


—姉さん…？



千
千
千

千
千
千…



—いくら綺麗に
体を洗っても

昨日の全てを
洗い流すなんて
無理ですよ



—おはよう
ございます

…叔父さん





えっ…!?



…あれだけ
出したらそうかも
しれないですね

でも
これで…



どうせ今夜も
同じ事を
するんですから



なんなら婚約者に
俺たちの関係を
伝えたって…

それだけは
やめて…っ!



ニイ…



結婚したって
この関係を
やめるつもりは
ありませんよ



姉さんが結婚する
その日まで毎日
セックスを続けて

それでも俺を
一人の男として
見られないなら
終わりにしましょう

——だったら



望み通り
『叔父』と『姪』に
戻って…ね

それで
どうですか？

スレ…



どんなに
抱かれても
イカされても

私は絶対に叔父さんを
男性として見る
ことはありません…!!

クス…



…わかりました



……



…すぐにでも
気が変わるように
してあげますよ



それじゃ
また今夜…